

第4回竹島問題研究会の開催状況

平成22年8月23日(月)

13:00～17:00 島根県庁6F講堂

(欠席) 内田委員、岡委員、福原委員

1. 下條座長あいさつ

- 竹島を巡る最近の動向として、①日韓両国の動向と②日本側主張への韓国批判の2点について解説があった。
- 韓国批判については、外務省と竹島問題研究会に対して行われており、研究会の反論にあたっては全体像を考えながら反論していくべきとの考え方が示された。

2. 調査・研究活動の状況について

- 次の項目について委員から資料が提出され、意見交換が行われた。
 - ・平成21年度竹島に関する学習の実施状況
 - ・最近の調査報告
 - ・1905年竹島編入直前のロシア側資料についての一考察
 - ・竹島の領有権をめぐる戦後の動向—国際法の観点から—
 - ・韓国嶺南大学校独島研究所「『竹島問題に関する調査研究 最終報告書』に対する批判」へのコメント
- 意見が集約された点は、次のとおりであった。
 - ・子どもに向けた学習の重要性に着目し、広報啓発媒体の作成など検討を深めることとなった。

3. 中間報告書の取りまとめについて

- 事務局から提案した制作案を踏まえ意見交換が行われ、次のとおり意見が集約された。
 - ・平成22年中に知事に中間報告書を提出する
 - ・研究レポートは、これまで研究会で取り上げられたテーマを中心に構成する
 - ・中間報告書の原稿については、極力、次回研究会(10/24予定)で確認する